

令和元年度事業 評価委員会による二次評価

1 評価基準

二次評価は以下の4段階で行う。

- 「 S 」 ……管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- 「 A 」 ……管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
- 「 B 」 ……管理運営が良好であった施設
- 「 C 」 ……管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

2 評価

項目	評価内容
施設名	東京都立埋蔵文化財調査センター
二次評価	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・施設整備の日常的な維持管理は計画書に基づき適切に実施している。修繕においては緊急時のみならず利用者利便性の向上や施設PRのための創意工夫を凝らした修繕も行った。・館内や遺跡庭園は清掃が行き届いており、利用者が安全で快適に過ごせるよう常に配慮を行っている。・世代交代を見据えた効率的かつ効果的な研修を企画実施し、専門的技術や知識の継承など積極的な人材育成に取り組んでいる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・企画展ではひとといきものの多様なかわりについて6つのテーマを設け分かりやすく紹介・展示を行った。また、常設展示・企画展示以外に初めて「特別展示」を開催した。さらに学芸員によるギャラリートークも初めて実施した。・ツイッターを開設し情報発信を行ったり多摩地域におけるお出かけ情報サイトへの掲載など積極的なPR活動を展開した。・利用者の視点に立った事業企画や運営を行っており、利用者の満足度は90%超を維持している。現状維持にとどまらず、積極的な事業企画の創意工夫を行っている。
その他	<ul style="list-style-type: none">・考古学の専門知識と高い接遇能力を有する調査研究員により、発掘調査の成果を活かした普及事業を実施している。今後も埋蔵文化財保護の重要性を広く伝えられるよう、人材育成に取り組み、知識やスキルの継承を図っていくことが望まれる。・指定管理事業と発掘調査事業が相互に連携して、引き続き質の高いサービス提供を維持していくことが望まれる。